

安全管理施策の強化

安全への取り組み

第3次連結中期安全計画(2010年度～2012年度)・連結中期安全計画(2013年度～2017年度)

コスモ石油グループでは、社会の皆様から信頼され、安心していただけるよう、事故や労働災害の撲滅をめざし、2005年度より製造、物流、販売の段階ごとに目標を掲げた連結中期安全計画を策定し、取り組みを進めています。「第3次連結中期安全計画(2010年度～2012年度)」の最終年度である2012年度は、全社の安全目標として、「一人

ひとりが役割・責任を自覚し、職場に潜む危険を把握・解決して、ゼロ災害を達成する」を目標に掲げ、安全活動に取り組みました。2013年度からの「連結中期安全計画(2013年度～2017年度)」において、引き続き、安全操業・安定供給体制の実現・維持をめざし、PDCAマネジメントの強化・充実による安全レベルの向上を図っています。

第3次連結中期安全計画の2012年取り組み状況 ㊟

※ 達成度：A 達成 B 一部達成 C 未達成

部門/対象	2012年の目標	2012年の実績	達成度	
製造部門	4製油所およびコスモ松山石油	不安全不具合*1の件数を2012年に基準年比*290%削減(11件以下)	不安全不具合件数: 112件(基準年比4%削減)	C
	コスモ石油ルブリカンツ(潤滑油製造)	・労働災害ゼロ ・事故・トラブルの前年比30%削減	・労働災害: 6件(休業2件、不休業4件) ・事故・トラブルの前年比7%削減(14件)	C
	コスモ石油ガス(LPG貯蔵・配送)	事故・トラブルゼロの継続	事故・トラブル: 0件	A
物流部門	コスモ陸運(陸上輸送)	・混油事故根絶(0件) ・ヒヤリハット提出(目標: 2万件)	・混油事故: 5件 ・ヒヤリハット提出: 2万件以上提出	C
	コスモ海運(海上輸送)	・海上漏洩、座礁事故ゼロの継続 ・機器故障の基準年(2008年)比50%削減	・海上漏洩: 0件、海難事故: 2件 ・機器故障の2008年比72%削減(8件)	C
	油槽所	・労働災害ゼロの継続 ・火災/漏洩事故の年平均2件未満	・労働災害: 0件 ・漏洩事故: 1件 年平均1.3件(2010年～2012年)	A
	原油外航部	活動施策の完遂(顕在化した事故の再発防止、未然防止の対策強化)	・トラブル: 3件 ・2010年のトラブル件数が12件であり、トラブルを大きく削減した(2010年比75%削減)	A
	石油製品貿易部	船舶の動静にかかわる重大事故ゼロ	船舶の動静にかかわる重大事故: 0件	A
販売その他部門	販売部(SS)	SS工事における労働災害ゼロの継続	労働災害: 0件継続(2010年～2012年)	A
	事業開発部(コージェネレーション等)	中期計画期間(2010年～2012年)における年間平均事故数1件以下の達成	事故・トラブル: 0件継続(2010年～2012年)	A
	研究開発部	・年間トラブル発生件数0件 ・ヒヤリハット事例解析の継続	・トラブル: 1件 ・ヒヤリハット事例解析の継続	B
	中央研究所	・労働災害ゼロの継続 ・事故・トラブルの対前年比削減 ・社外事故報告レベルの不安全不具合ゼロ	・労働災害: 3件(休業0件、不休業3件) ・トラブル: 5件 ・社外事故報告レベルの不安全不具合: 0件	B
	コスモエンジニアリング	ゼロ災害の実現(労災の対前年比の確実な削減)	労働災害: 13件(休業4件、不休業9件)(2011年比55%削減)	B

*1 コスモ石油グループでは、石油コンビナート等災害防止法に定める異常現象およびこれにいたらないトラブル・不具合、労働災害などを「不安全不具合」と定義しています。

*2 基準年: 2006年9月～2007年8月

チェンジ21活動

各製油所およびコスモ松山石油(株)では「事故ゼロを達成し、それを維持する」ことを目標に掲げ「チェンジ21活動」と称し、設備の保全レベルのさらなる向上と安全管理体制の強化に取り組んできました。「チェンジ21活動」を推進するにあたり、一定の効果は確認できたものの、新たな課題も浮き彫りとなりました。

今後は新しい管理体制のもと、社長を委員長とした「製油所安全改革委員会」に活動を引き継ぎ、安全管理体制の強化に取り組んでいきます。

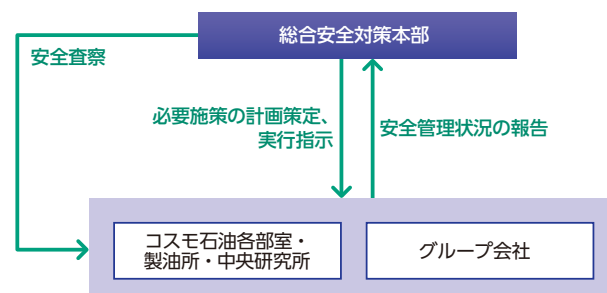


「チェンジ21活動」の様子

安全査察

コスモ石油グループは、グループ横断の安全管理組織である「総合安全対策本部」をコスモ石油本社内に設置しています。「総合安全対策本部」では、安全管理に関する重要事項の調整や審議などを行い、安全管理体制の充実と取り組みの徹底を図っています。また、事業所および事業所を統括する本社部門を対象とした安全査察を毎年実施しています。2012年度は4製油所を含む12事業所・部門を対象に安全査察を実施しました。特に製油所に対する査察では、社内査察員に本社のみでなく他製油所の人員を加えるなど、第三者的視点から、より効果の高い改善・指導を行えるよう工夫しています。

安全管理体制図



BCP総合訓練

2013年3月に、首都直下型地震の発生後に3連動型地震（東海・東南海・南海）が発生したという想定で、6回目となる総合災害訓練およびBCP訓練を実施しました。今回はMCA無線を用いた通信訓練を新たに盛り込みました。引き続き、さまざまな想定で訓練を行い、大規模災害時にも人命尊重を最優先に、石油製品を安定供給できる体制を強化していきます。



「BCP総合訓練」の様子

安全文化構築への取り組み（CS活動*）

製油所では、安全操業・安定供給、競争力強化を達成するため、全職場で少人数のサークル改善活動を実施しています。メンバー全員でテーマを決め、全員の創意と工夫で進めるボトムアップ型の活動で、製油所の代表サークルが活動成果を披露するCS活動全社発表大会を年1回開催しています。コスモ石油ではCS活動を通じて、人材のマネジメント力向上に加え製油所の安全文化の醸成にも取り組んでいます。

* 「コスモ小集団活動および提案活動」の略で、コスモ石油の経営方針を達成するために職場で結成された小集団による自主的な活動



「CS活動全社発表大会」の様子

製油所安全改革委員会の設置

各製油所およびコスモ松山石油（株）は、チェンジ21活動推進委員会にて推進してきた従来の安全管理活動を見直し、2013年度より「PDCAマネジメントの強化・充実により、安全操業・安定供給体制を確立する」ことを目標に掲げ、社長を委員長とする「製油所安全改革委員会」を設置しました。

今後もさらなる安全文化醸成のために、事故を未然に防止する技術や体制の整備だけでなく、現場を支える社員一人ひとりが高い安全意識を持って、設備の保全レベル向上と安全管理体制の強化に取り組んでいきます。



「製油所安全改革委員会」開催の様子

※ 詳しくはP10をご参照ください。